AP エアコンプレッサー取扱説明書

この度はアストロプロダクツ・エアコンプレッサー をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に本取扱い説明書をよくお読みになり安全にお使い下さいますようお願い致します。

製　品　仕　様

AP エアコンプレッサー 39Ｌ RED			
商品コード	２００４０００００７７７７		
商品型番	AP ０４０７７７		
電動機出力	2.0HP	最高使用圧力	0.78Mpa(8kgf/㎠)
電　　源	100V-50/60Hz	再起動圧力	0.59Mpa(6kgf/㎠)
消 費 電 流	12.5A/13A	消 費 電 力	1100W/1150W
安全弁設定圧力	0.86Mpa(8.8kgf/cm²)	吐出空気量	82/98L/min(0.59Mpa)
タンク容量	39L	タンク直径	280mm
回 転 数	2800/3400rpm	コード長	約 2m
本 体 寸 法	約 630/330/675mm	重　　量	34kg

安 全 上 の ご 注 意

この取扱説明書及び製品本体に貼り付けられたラベルには、安全に関わる重要な注意事項を、⚠警告・⚠注意のマークを使用し表現しています。製品を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。
このコンプレッサーを使用する前に、この取扱説明書に記載されている各項目を良く読み、理解し、厳守して下さい。取扱説明書を無くしたり、汚したりせず、使用者が任意に読む事が出来る様、大切に保管して下さい。

⚠警告・⚠注意の意味は以下の通りです。

⚠警告	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。
⚠注意	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、人的障害及び製品の故障やその他物的損害に結びつく可能性があります。

エアコンプレッサー使用上のご注意

⚠警告

- 本機の分解・改造はしないでください。修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないでください。
- このコンプレッサーの圧縮空気には、油分や小さなゴミなどの不純物が混入していますので、人の呼吸用、ペット水槽の送気用など人体や動物用には使用しないでください。
- 作業場所には関係者以外近づけないでください。特に子供は危険な行動をとることがあるので近づけないよう注意してください。
- 揮発性可燃物（シンナー・ガソリン等）、揮発性ガス・引火性ガス（アセチレン・プロパンガス）を周辺に置かないでください。電圧の低下などにより、モーターの接点から火花が発生し、引火する恐れがあり危険です。
- ４０℃以上の高温物には、塗料や洗浄液を吹き付けないでください。溶剤や洗浄液が気化して引火の恐れがあります。
- 圧縮空気は人体や動物に向かって吹かないでください。吹き出す空気は非常に強いので、顔や目には絶対に近づけないでください。
- エアツールを使用する際は各エアツールの最高使用圧力を超えない範囲で使用してください。圧力が高すぎると工具が変形したり、部品が飛び出したり、破裂したりする恐れがあり、大変危険です。
- 感電防止のため、接地（アース）してください。また、アース線はガス管には絶対に接続しないでください。ガス爆発の恐れがあり非常に危険です。
- 作業の際は、必ず保護メガネを使用してください。万が一、塗料、溶剤、洗浄液などが目に入ってしまった場合は、清潔な水ですぐに目を洗い、直に、医師の手当てを受けてください。

・　作業内容によっては、保護マスク・保護帽・安全靴・耳栓なども使用してください。
・　圧力スイッチ、安全弁の設定値を変更しないでください。安全のため、規定の圧力で作動するよう設定されていますので、みだりに設定圧力を変更すると圧力が異常に上昇し、エア漏れしたり破裂したりする恐れがあり大変危険です。
・　雨や水に濡れる場所には設置しないでください。また、濡れた手で本体及び電源プラグに手を触れないでください。感電する恐れがあり危険です。
・　高温・直射日光下では使用しないでください。また、作動中も周囲の温度が４０℃以上にならないよう注意してください。
・　運転中・使用直後は、モーター・シリンダー部及び配管部は非常に高温になっていますので、手を触れないでください。
・　定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使用してください。低電圧での使用はモーターの焼損など故障の原因になります。

⚠注意

・　未使用時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、清掃・点検の際も必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
・　コンプレッサーは壁から 30cm 以上離して設置してください。また、上、下、周囲には物を置かないでください。火災や故障の原因となります。
・　設置場所は必ず、水平で安定する場所を選んでください。
・　付属のエアフィルターを必ず取り付けてください。コンプレッサー内に粉塵が吸入され、故障の原因になります。
・　空気中の湿度が高い場合は、圧縮空気に水分が混入する場合がありますので、特に塗装作業を行う場合は、市販のドレンフィルターや除湿機を取り付けてください。

電源についてのご注意

⚠注意

・　このコンプレッサーの電源は単相 100V です。起動時には、瞬間ですが定格消費電流の約 4 倍の電流が流れます。発電機を電源として使用した場合、低電圧となりコンプレッサーのモーターやコンデンサーの焼損など故障の原因となりますので、発電機を電源としての使用はしないでください。
・　延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、2.0mm^2 以上のコードを 10m 以下で使用してください。延長コードが長すぎたり、細すぎたりすると電圧降下を起こします。
・　コンセントを他の電気機器と一緒に使用すると電圧が落ちますので、他の電気機器・電動工具の使用を一時中止してください。
・　コンセントが複数ある場合は、電力メーターや分電盤に近いコンセントを使用してください。

使 用 方 法

◎ご使用前に。

① 付属のエアフィルターを取り付けます。

※エアフィルターなしで作動させると細かい粉塵が吸入され、故障の原因となります。

②オイル注入口のオイルキャップを外し、付属の専用オイルを注入口よりゆっくりと注いでください。オイルサイトグラスより、オイル量を確認しながら、サイトグラス中央までオイルを入れます。

※オイルは粘度があるので、一気に注がず、注いだオイルが落ち着くのを待ち、様子を見ながら注入してください。オイルは入れすぎると圧縮空気と一緒に吐出されることがあります。

⚠警告：オイル量が適正でない状態で使用すると、故障の原因となりますのでオイル量には十分ご注意ください。

⚠注意：付属の専用オイル以外使用しないでください。また、本機運転中は絶対にオイルキャップを外したり、オイルを注入または交換しないでください。

③外したオイルキャップを取り付けます。

④ 付属のワンタッチカプラーをエアコック接続口に取り付けます。

⑤ 作動前に各部のネジに緩みがないか確認してください。（タイヤ、エアフィルター、モーターカバー、スイッチ及び配管接続部）

⑥平らで固い床面に設置してください。また、壁から 30cm 以上離し、風通しが良く、清潔な場所に設置してください。

⑦エアタンク内に水が溜まっていないか確認してください。ドレンコックを緩めて排水してください。

⑧作動スイッチを「OFF」の位置にした状態で電源プラグをコンセントに差し込んでください。

◎運転

① 必要なエアホース、エアツールを取り付けてください。

② 作動スイッチを「ON」にすると、モーターが始動し、エアタンク内に空気を溜めていきます。

③ タンク内の圧力が約 0.78MPa(8kgf/cm^2)になると、オート圧力スイッチが作動しモーターが停止します。

④ タンク内の空気が消費され、タンク内圧力が約 0.59MPa(6kgf/cm^2)まで下がると、モーターが再起動します。

※安全弁について。

安全弁は約 0.86MPa(8.8kgf/cm^2)で作動するよう調整されています。

本機を使用する際は、安全弁を引き、空気が確実に放出されるか確認してください。

⚠警告：安全弁から吹き出す空気は非常に強いので、吹き出し口の方向などに注意して、顔や体を近づけないようにしてください。

⑤必要に応じて、取り出し圧力の調整を行います。（タンク内圧力より高く設定することはできません。）

・取り出し圧力調整器のつまみを時計方向に回すと設定圧力は高くなり、反時計回りに回すと、設定圧力は低くなります。

・取り出し圧力調整つまみの下のリングは回り止めです。圧力調整後、反時計方向に回して圧力調整つまみを固定してください。

※サーキットブレーカー（モーター保護装置）について。

各コンプレッサーには、サーキットブレーカーボタンが設けられていますが、これは電圧降下が大きかったり、モーターが異常に加熱した場合にブレーカーボタンが飛び出て、モーターを停止させます。モーターが停止した場合は、一旦作動スイッチを「OFF」にしてから電源コードをコンセントより引き抜いてください。このとき、モーターが停止した原因として、延長コードを使用している場合、延長コードが長すぎないか、また細すぎないか確認してください。また、同一のコンセントで複数の電気機器・電動工具を併用していないか確認してください。

再起動は、約 20 分経過後、モーター温度が冷えてからサーキットブレーカーボタンを押して（作動時には、ボタンが飛び出ます。）、電源プラグをコンセントに接続し、作動スイッチを「ON」にしてください。

⚠注意：何回もサーキットブレーカーが作動する状態が続くと、モーターが焼損する恐れがあります。問題が解決されるまで使用しないでください。

◎停止

①作動スイッチを「OFF」にします。

⚠注意：作動スイッチ以外でコンプレッサーを停止させないでください。作動スイッチを使用せず、コンセントを引き抜いて停止させるなどすると、故障の原因となります。

②電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意：電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグの成形部を持って引き抜いてください。電源コードを引っ張って引き抜かないでください。

③タンク下部にあるドレンコックをゆっくりと開き（反時計回りに回す）、タンク内の圧力を解放すると同時に、水抜きも行います。

⚠警告：空気を圧縮すると必ず水が発生します。エアタンク内の錆発生の防止とタンク内圧力を正常に保つため、使用後は必ず水抜きを行ってください。

◎保守・点検

⚠警告：点検・整備の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、エアタンク圧力を解放してください。モーターが急に動き出したり、取り外した部品が吹き飛ばされたりする可能性があり危険です。

・エアフィルターのエレメントの清掃

エアフィルターは汚れが溜まりやすく、目詰まりを起こすことがありますので、蓋を外して、エレメントを定期的に清掃してください。汚れていた場合は、薄めた中性洗剤で洗浄してください。汚れがひどい場合はエレメントを交換してください。

※エアフィルターの汚れは、圧力が上昇しない原因になります。

・オイルの交換

6か月または、250時間ごとに、オイル交換を行ってください。

1. オイルを受けるトレーのような受け皿を用意します。
2. 受け皿をオイルドレンに押し当てながら、オイルドレンボルト外します。
3. 本体を傾けながら、オイルを全て抜き取ります。
4. オイルドレンボルトを元の位置にしっかりと締め付けます。

⚠注意：オイルドレンボルトは無理に締め付けるとネジ山の破損や油漏れの原因となりますので、締めすぎには十分注意してください。

5. オイル注入口のオイルキャップを外し、付属の専用オイルを注入口よりゆっくりと注いでください。オイルサイトグラスよりオイル量を確認しながら、サイトグラス中央までオイルを入れます。
6. オイルキャップを取り付けて完了です。

◎長期保管

①長期間使用しない場合は、ドレンコックを開き、タンク内の水を抜きます。

②ドレンコックを閉め、全体の汚れをオイルの染みた布で拭き取ります。

③コンプレッサー全体にビニールカバーのような埃よけを被せ、湿気や埃の少ない場所に保管します。

◎トラブルシューティング

症　　状	原　　因	解 決 方 法
モーターが回らない。	電源ﾌﾟﾗｸﾞが外れていないか。	電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄに差し込む。
	作動ｽｲｯﾁが「OFF」になっていないか。	作動ｽｲｯﾁを「ON」にする。
	電源のﾌﾞﾚｰｶｰが落ちていないか。	電源のﾌﾞﾚｰｶｰを入れる。
	ｻｰｷｯﾄﾌﾞﾚｰｶｰﾎﾞﾀﾝが飛び出していないか。 ※右の解決方法を行った後で、ｻｰｷｯﾄﾎﾞﾀﾝを押し、作動させてください。	延長ｺｰﾄﾞが長すぎるか、細すぎる。太さ 2.0mm^2 以上で 10m 以下にするか、延長ｺｰﾄﾞの使用をやめる。
		使用するｺﾝｾﾝﾄを電力ﾒｰﾀｰに近い 15A 以上のｺﾝｾﾝﾄを使用する。
		同一のｺﾝｾﾝﾄで他の電気機器・電動工具を併用している場合は、使用をやめ、ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰを単独で使用する。
		ﾀｺ足配線になっている場合は、単独で使用できるｺﾝｾﾝﾄに変更する。
	前回の停止時に作動ｽｲｯﾁ以外で停止させていないか。	ﾓｰﾀｰが高温になっている場合は、冷えてから作動させる。 作動ｽｲｯﾁを一度「OFF」にしてから「ON」にする。
	ｴｱﾀﾝｸ内の圧力が約 0.59MP(6kgf/cm^2)以上になっていないか。	正常です。圧力が約 0.59MPa（6kgf/cm^2）以下になれば再起動します。
アンロードバルブからエアが漏れる。	ﾁｪｯｸﾊﾞﾙﾌﾞ内のｺﾞﾑﾊﾟｯｷﾝにｺﾞﾐが付着していないか。	ｺﾞﾐを取り除いてください。
エアタンク内圧力が最高使用圧力まで上がらない。	安全弁から空気が漏れていないか。	ｴｱﾀﾝｸ内の空気を抜き、安全弁を掃除してください。それでも漏れる場合は安全弁を交換してください。
	ﾄﾞﾚﾝﾌﾟﾗｸﾞが緩んでいないか。	ﾄﾞﾚﾝﾌﾟﾗｸﾞを締めてください。
	各接続部分から空気が漏れていないか。	増し締めをしてください。ｼｰﾙﾃｰﾌﾟ使用部はｼｰﾙﾃｰﾌﾟを巻き直してください。
	ｴｱﾌｨﾙﾀｰ内のｴﾚﾒﾝﾄは汚れていないか。	ｴﾚﾒﾝﾄを洗浄してください。汚れがひどい場合は交換してください。
	ｵｲﾙ量が不足していないか。	ｵｲﾙ量が不足している場合は、補充してください。
エアにオイルを含んでいる。	ｵｲﾙ量が多すぎないか。	ｵｲﾙを適量まで抜いてください。

所有者・使用者責任

所有者、及び使用者は当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）を良く読み、理解しなければなりません。資格を持ち、慎重で、自動車の構造、及び構成している部品等をよく理解し、十分な経験のある人が責任を持って当該商品を使用した作業を行うようにして下さい。警告事項は特に良く理解するようにして下さい。

所有者、及び使用者は今後の作業の上で、メーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように努めてください。また、警告ラベル、説明書等については、いつでも読む事が出来るように良い状態で保管して下さい。

作業上の注意点

1) 安全ゴーグル、安全手袋、安全帽、作業服を着用して下さい。
2) 塗装等､呼吸器系統に影響がある作業を行う場合は､防塵マスクを着用して下さい。
3) サイズの極端に大きい衣服、ズボン等、巻き込みの恐れがある衣服や作業服は着用しないで下さい。必ず体に合った作業服を着用して下さい。また、長髪の人は髪が巻き込まれないようにして下さい。
4) 使用する工具の説明書をよく読み、注意事項を守って作業して下さい。
5) 作業前に、各部に傷、損傷、錆びなどが無いか良く確認して下さい。
6) 可動部、回転部分には、作業前もしくは定期的にグリスの塗布、注油を行って下さい。
7) 誤った使用方法により商品が破損、人体への損傷、物品等の損害が生じた場合、一切の保証、並びに責務は無効となります。

故障について

故障と思われる場合には､お手数ですがお買い上げいただいた販売店又は販売元までご連絡下さい。

■販売元
株式会社　ワールドツール
〒361-0056 埼玉県行田市持田 2091-1
TEL:048-564-6970（代）

■カスタマーサービス
TEL：048-564-3727
受付時間：月～金　10:00～18：00